

東日本大震災・原子力災害伝承館

館内語り部講話スケジュール

| 1 月 | 午前 ①10:00～ ②11:15～ | 午後 ③13:15～ ④14:30～ |
|------|--|---|
| 1 木 | 年末年始休館（12/29～1/3） | |
| 2 金 | | |
| 3 土 | | |
| 4 日 | 紙芝居『菜の花物語』（南相馬市） | 当時11歳にととの東日本大震災（富岡町） |
| 5 月 | 震災経験とその後の活動（南相馬市） | 『残照』～震災の記憶～（相馬市） |
| 6 火 | 休 館 日 | |
| 7 水 | 東日本大震災と避難生活の実態（浪江町） | 東日本大震災一あの日から14年が過ぎて（南相馬市） |
| 8 木 | 東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町） | 長い避難生活を支えた励ましの数々（富岡町） |
| 9 金 | 震災発生から全町避難を振り返って（富岡町） | 役場職員 震災直後の7日間（浪江町） |
| 10 土 | 震災・避難・現在の歩み（富岡町） | 原発から25キロに住む1人として（南相馬市） |
| 11 日 | 当時11歳にととの東日本大震災（富岡町） | 原発事故が学校にもたらしたもの（南相馬市） |
| 12 月 | 伝統文化存続の危機と伝承（双葉町） | 震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市） |
| 13 火 | 休 館 日 | |
| 14 水 | 福島第一原発事故における病院避難について （東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です） | 復興を支える 人の繋がり（富岡町） |
| 15 木 | 震災経験とその後の活動（南相馬市） | 『残照』～震災の記憶～（相馬市） |
| 16 金 | 防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市） | 東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町） |
| 17 土 | 変わりゆくふるさと それでも前を向いて（双葉町） | あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～（南相馬市） |
| 18 日 | 生きのびるために（双葉町） | 東日本大震災 娘との日々（富岡町） |
| 19 月 | 原発事故が学校にもたらしたもの（南相馬市） | 震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～（双葉町） |
| 20 火 | 休 館 日 | |
| 21 水 | 10:00～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 11:15～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町） | 13:15～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 14:30～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町） |
| 22 木 | 東日本大震災と避難生活の実態（浪江町） | 「当たり前」はない（大熊町） |
| 23 金 | 震災・原発事故を語る（双葉町） | 役場職員 震災直後の7日間（浪江町） |
| 24 土 | 生きのびるために（双葉町） | 原発から25キロに住む1人として（南相馬市） |
| 25 日 | ふるさとで暮らす（大熊町） | 置き去りにされた動物（浪江町） |
| 26 月 | 私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、 相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市） | 震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市） |
| 27 火 | 休 館 日 | |
| 28 水 | あの日震災から学んだこと（富岡町） | 紙芝居で伝えたいこと（浪江町） |
| 29 木 | 『残照』～震災の記憶～（相馬市） | 双葉の子どもたち（双葉町） |
| 30 金 | 震災時の体験と伝えたいこと（大熊町） | あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～（南相馬市） |
| 31 土 | 震災経験とその後の活動（南相馬市） | 東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町） |

※タイトル横の（ ）内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2025/12/21現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。